平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月30日

上場会社名　　株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング　　上場取引所　東
コード番号　　7774　　ＵＲＬ　http://www.jpte.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）小澤　洋介
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営管理部長　　（氏名）大林　正人　　ＴＥＬ　0533-66-2020

四半期報告書提出予定日　　平成25年11月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	419	73.0	△491	－	△494	－	△496	－
25年３月期第２四半期	242	5.8	△557	－	△550	－	△551	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	△2,708.42	－
25年３月期第２四半期	△3,019.16	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	2,973	1,908	64.2
25年３月期	3,209	2,326	72.5

（参考）自己資本　　26年３月期第２四半期　　1,908百万円　　25年３月期　　2,326百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
26年３月期	－	0.00			
26年３月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,008	78.9	△1,081	－	△799	－	△803	－	△4,374.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	183,664株	25年３月期	182,941株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	－株	25年３月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	183,399株	25年３月期２Ｑ	182,821株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料Ｐ．２「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料については、当社ホームページに記載しております。

（http://www.jpte.co.jp/ir/library/index_financial.html）

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期財務諸表 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 4
第２四半期累計期間 …… 4
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 5
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間における我が国経済は、長引く原発問題やアジア新興諸国の景気減速が懸念される一方で、政府による経済対策、金融政策等を受けた円安、株高の進行に支えられ、設備投資の増加など、緩やかな回復基調で推移しました。

再生医療分野では、平成25年４月に、再生医療の普及を迅速に進めるための再生医療推進法が国会で可決承認され、５月には、再生医療製品や医療機器の承認手続きを簡素化する改正薬事法案と、iPS細胞（人工多能性幹細胞）などを用いた再生医療の安全を確保する新法案が閣議決定されました。当該二法案は、秋の臨時国会において継続審議される予定です。

このような状況の下、当社は再生医療製品事業において自家培養表皮、自家培養軟骨、自家培養角膜上皮の開発を進めました。

自家培養表皮ジェイスは、平成21年１月１日付で保険収載された我が国初のヒト細胞組織利用製品であり、重症熱傷患者の治療を目的とした医療機器です。ジェイスには保険適用に関し、「施設基準」や「算定限度」等の留意事項が付与されています。これら留意事項のうち「算定限度」に関しては、平成24年４月１日より一患者につき20枚から40枚に緩和されました。当社は引き続き、主要な医療機関への販売促進に努めると同時に、重症熱傷治療におけるジェイスのより有用な使用方法について、学会等を通じて啓蒙活動を行いました。

さらに当社は、ジェイスの適応拡大による表皮水疱症の治療を目的として、平成24年５月に治験計画届書を独立行政法人医薬品医療機器総合機構に提出し、治験を進めました。なお、ジェイスは、表皮水疱症の治療を目的とした希少疾病用医療機器に指定されています。

自家培養軟骨ジャックは、平成24年７月に厚生労働省により製造販売承認されました。整形外科領域における日本初のヒト細胞組織利用製品であり、膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎（変形性膝関節症を除く）を適応対象とします。さらに、平成25年４月１日より保険償還価格2,080千円にて保険収載されました。ジャックには保険適用に関し、「施設基準」や「実施医基準」等の留意事項が付与されているため、当社は医療機関および実施医への研修を積極的に進めました。

自家培養角膜上皮は、前臨床試験と各種バリデーション試験の結果をまとめ、治験実施に向けて独立行政法人医薬品医療機器総合機構と事前相談を行いました。秋の臨時国会で審議される改正薬事法の動向を踏まえ、治験プロトコールを調整、確立します。

研究開発支援事業である研究用ヒト培養組織ラボサイトシリーズは、動物実験を代替する試薬です。本製品の販売促進とユーザーからの受託試験を積極的に展開しました。平成25年７月に、当社のラボサイト エピ・モデル24を用いた皮膚刺激性に関する試験法が、標準法の一つとしてOECD（経済協力開発機構）の試験法ガイドラインTG439へ収載されました。また、OECDが推進する眼刺激性試験の標準化を目指した共同研究を進めています。

こうした結果、当第２四半期累計期間における売上高は、419,810千円（前年同四半期比73.0%増）となりました。製造、品質管理並びに営業部門の人員補強による人件費の増加等により営業損失は491,612千円（前年同四半期は557,238千円の損失）、経常損失494,821千円（前年同四半期は550,066千円の損失）となり、四半期純損失は496,721千円（前年同四半期は551,966千円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別では、再生医療製品事業の売上高は、381,610千円（前年同四半期比81.8%増）、研究開発支援事業の売上高は、38,199千円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期会計期間末の総資産は、研究開発及び営業活動に伴う支出等により現金及び預金が減少したことで、前期末比235,613千円減の2,973,541千円となりました。負債は、長期借入金等の増加により前期末比181,507千円増の1,064,631千円となりました。純資産は、利益剰余金の減少により前期末比417,121千円減の1,908,909千円となり、自己資本比率は64.2%となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年４月30日に公表しました平成26年３月期第２四半期累計期間（平成25年４月１日～平成25年９月30日）の業績予想と実績に差異が発生し、かつ、最近の業績動向を踏まえ、平成26年３月期（平成25年４月１日～平成26年３月31日）の通期業績予想を修正しました。

詳細につきましては、平成25年10月30日に公表しました「第２四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,607,355	1,339,942
受取手形及び売掛金	161,532	190,329
製品	―	1,843
仕掛品	18,134	28,282
原材料及び貯蔵品	53,195	56,667
その他	33,827	29,692
流動資産合計	1,874,045	1,646,757
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	705,598	688,730
土地	537,814	537,814
その他（純額）	51,736	63,768
有形固定資産合計	1,295,149	1,290,314
無形固定資産	28,688	26,989
投資その他の資産	8,775	9,110
固定資産合計	1,332,613	1,326,413
繰延資産	2,496	370
資産合計	3,209,154	2,973,541
負債の部		
流動負債		
支払手形	39,263	46,802
1年内返済予定の長期借入金	205,742	169,132
未払法人税等	17,526	15,655
賞与引当金	56,347	56,763
その他	158,758	190,731
流動負債合計	477,637	479,085
固定負債		
長期借入金	309,236	483,900
役員退職慰労引当金	91,200	91,200
その他	5,050	10,446
固定負債合計	405,486	585,546
負債合計	883,124	1,064,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,722,700	7,762,500
資本剰余金	5,552,700	5,592,500
利益剰余金	△10,949,369	△11,446,090
株主資本合計	2,326,030	1,908,909
純資産合計	2,326,030	1,908,909
負債純資産合計	3,209,154	2,973,541

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	242,609	419,810
売上原価	182,530	249,634
売上総利益	60,078	170,175
販売費及び一般管理費	617,317	661,788
営業損失（△）	△557,238	△491,612
営業外収益		
受取利息	312	141
受取配当金	0	0
助成金収入	18,034	3,803
その他	2,189	984
営業外収益合計	20,537	4,930
営業外費用		
支払利息	7,662	5,352
株式交付費償却	2,787	2,531
固定資産除却損	2,767	－
その他	147	255
営業外費用合計	13,364	8,138
経常損失（△）	△550,066	△494,821
税引前四半期純損失（△）	△550,066	△494,821
法人税、住民税及び事業税	1,900	1,900
法人税等合計	1,900	1,900
四半期純損失（△）	△551,966	△496,721

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△550,066	△494,821
減価償却費	42,628	41,707
賞与引当金の増減額（△は減少）	5,429	415
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△800	－
受取利息及び受取配当金	△312	△142
支払利息	7,662	5,352
為替差損益（△は益）	98	－
売上債権の増減額（△は増加）	△10,343	△28,797
たな卸資産の増減額（△は増加）	△10,438	△15,463
仕入債務の増減額（△は減少）	2,933	7,539
未払金の増減額（△は減少）	4,764	13,958
未払又は未収消費税等の増減額	672	700
その他	△13,067	18,493
小計	△520,839	△451,055
利息及び配当金の受取額	247	150
利息の支払額	△7,637	△6,203
法人税等の支払額	△3,667	△3,750
営業活動によるキャッシュ・フロー	△531,896	△460,858
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△340,350	－
定期預金の払戻による収入	340,350	340,350
有形固定資産の取得による支出	△4,422	△17,697
無形固定資産の取得による支出	△2,823	△4,176
その他	189	△154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,056	318,322
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	－	270,000
長期借入金の返済による支出	△124,646	△131,946
リース債務の返済による支出	△1,013	△1,775
新株予約権の行使による株式の発行による収入	－	79,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,659	215,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△664,711	72,936
現金及び現金同等物の期首残高	2,015,324	1,267,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,350,613	1,339,942

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。